



2021年8月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年7月15日

上場会社名 株式会社ファーストリテイリング 上場取引所 東
 コード番号 9983 URL <https://www.fastretailing.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柳井 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 グループ上席執行役員 CFO (氏名) 岡崎 健 TEL 03-6865-0050
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	1,698,082	9.9	227,897	72.1	245,654	72.5	156,876	71.5	151,351	67.0	217,748	82.3
2020年8月期第3四半期	1,544,924	△15.2	132,383	△46.6	142,420	△42.4	91,475	△47.4	90,640	△42.9	119,470	△26.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	1,482.08	1,479.65
2020年8月期第3四半期	887.96	886.42

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第3四半期	2,492,263	1,159,601	1,113,646	44.7	10,903.41
2020年8月期	2,411,990	996,079	956,562	39.7	9,368.83

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	240.00	—	240.00	480.00
2021年8月期	—	240.00	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	240.00	480.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150,000	7.0	245,000	64.0	262,700	71.8	165,000	82.6	1,616.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

基本的1株当たり当期利益の業績予想は、前連結会計年度末の発行済株式数（自己株式を除く）に基づき算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	106,073,656株	2020年8月期	106,073,656株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	3,936,239株	2020年8月期	3,973,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	102,121,062株	2020年8月期3Q	102,076,743株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年9月1日～2021年5月31日）の連結業績は、売上収益が1兆6,980億円（前年同期比9.9%増）、営業利益が2,278億円（同72.1%増）と、大幅な増収増益となりました。上期はユニクロ事業を中心に収益性が改善し、大幅増益となったことに加え、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年に対し、すべてのセグメントで業績が回復し、大幅な増収増益となりました。その他収益・費用には、海外ユニクロ事業を中心に減損損失を175億円計上したことから、ネットで152億円のマイナスとなりました。また、金融収益・費用はネットで177億円のプラスとなりました。これは主に、外貨建資産などの換算による為替差益を195億円計上したことによります。この結果、税引前四半期利益は2,456億円（同72.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,513億円（同67.0%増）となりました。

当社グループは、「情報製造小売業」として世界No. 1のアパレル小売企業となることを中期ビジョンに掲げ、なかでも海外ユニクロ事業、ジーユー事業、Eコマース事業の拡大に注力しています。各国・各エリアでユニクロの店舗の大量出店を継続すると同時に、ユニクロの服づくりのコンセプトであるLifeWear（究極の普段着）の浸透を図っています。海外ユニクロ事業では、グレーターチャイナ、東南アジアが事業の柱として成長ステージにあります。ジーユー事業は、国内市場を中心に事業を拡大すると同時に、ファッションと低価格のブランドとしてのポジションを確立しています。Eコマース事業は、店舗と融合した取り組みの強化とサービスの拡充により、売上収益が拡大しています。

[国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当第3四半期連結累計期間の売上収益は6,751億円（前年同期比12.7%増）、営業利益は1,195億円（同51.0%増）と、大幅な増収増益となりました。上期は、在宅需要にマッチした商品や秋冬コア商品の販売が好調で増収、大幅な増益となりました。当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間も、前年の業績のハードルが低かったことで、大幅な増収増益となりました。

当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間は、Uniqlo UのTシャツ、感動パンツなどの夏物商品や、ラウンジウェア、ウルトラストレッチアクティブパンツなどの商品の販売が好調だったことから、大幅な増収となりました。Eコマース売上高は増収と順調に拡大しております。当社では3月12日から消費税の総額表示対応で、商品本体価格を、そのまま消費税込みの価格とし、お客様のお求めやすい価格で販売しています。売上総利益率への影響を軽減するために、原価改善を進めてきた結果、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間の売上総利益率は、同0.5ポイントの低下にとどまりました。また、売上高販管費比率は、同6.1ポイント改善しました。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が想定以上に大きかったことに加えて、商品の新しさやニュース性をお客様に伝えきれなかったことで販売に苦戦し、会社計画を下回る業績となりました。

[海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当第3四半期連結累計期間の売上収益は7,396億円（前年同期比9.8%増）、営業利益は977億円（同88.7%増）と、増収、大幅な増益となりました。上期は東アジアの事業の収益性が改善したことで、大幅な増益となりました。当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間もすべての地域の業績が大幅に回復しています。地域別では、中国大陸市場は、大幅な増収増益となりました。韓国は、売上総利益率、販管費比率が改善した結果、営業利益は黒字に転換しました。その他アジア・オセアニア地区（東南アジア・オーストラリア・インド）は、大幅な増収、営業利益は黒字に転換しました。北米と欧州は、新型コロナウイルス感染症の状況が改善したことで、大幅な増収、赤字幅は大幅に縮小しました。

なお、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間では、中国大陸市場において、前年は、5月の労働節商戦が、新型コロナウイルス感染症の収束後の反動消費で非常に好調だった一方で、当年は国内旅行に消費がシフトするなどの変化があり、小売市場全体の需要がやや低下傾向にあったことにより、グレーターチャイナの業績は会社計画を下回る結果となっています。ただし、北米、欧州の収益性が計画以上に改善した結果、海外ユニクロ事業全体の営業利益はほぼ計画通りとなっています。

[ジーユー事業]

ジーユー事業の当第3四半期連結累計期間の売上収益は2,008億円（前年同期比7.1%増）、営業利益は243億円（同18.9%増）と増収、大幅な増益となりました。上期の業績は前年並みとなりましたが、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間は大幅な増収増益となりました。

当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間では、シェフパンツ、エアリーシャツ、カットソーカラーフレアスラックスなどの販売が増収に寄与しました。ただし、緊急事態宣言の影響に加え、一部の商品がトレンドを捉え切れておらず、販売に苦戦したことで、会社計画を下回る業績となりました。

[グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の当第3四半期連結累計期間の売上収益は805億円（前年同期比3.3%減）、営業利益は89億円の赤字（前年同期は60億円の赤字）と、減収、赤字幅は拡大しました。上期は新型コロナウイルスの影響で大幅に悪化しましたが、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間は、大幅増収、営業利益は7億円の赤字（前年同期は67億円の赤字）と、セオリー事業を中心に業績が回復しています。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が想定より大きかったことで、会社計画に対しては下回りました。

[サステナビリティ（持続可能性）]

「服のチカラを、社会のチカラに。」というステートメントのもと、服のビジネスを通じたサステナビリティ活動を推進しています。6つの重点領域（マテリアリティ）は、「商品と販売を通じた新たな価値創造」「サプライチェーンの人権・労働環境の尊重」「環境への配慮」「コミュニティとの共存・共栄」「従業員の幸せ」「正しい経営」から構成されています。当第3四半期における主な活動内容は以下の通りです。

■「環境への配慮」：2021年6月、気候変動に関する企業対応を情報開示することを目的とした気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に賛同を表明し、TCFDに沿った開示に向けて取り組みを進めています。また、サステナビリティ委員会では、自社の店舗・オフィス、取引先工場や原材料生産などサプライチェーンでの温室効果ガス排出量の長期削減目標の策定と具体策について議論を進めています。

■「コミュニティとの共存・共栄」：新型コロナウイルス感染症対策支援として、昨年より、世界中の医療機関や介護施設等にマスクやアイソレーションガウンなどの寄贈を行ってまいりましたが、さらに、当該感染症の影響が拡大するインドに対して、ユニクロの「エアリズムマスク」60万枚超など、総額2億2,000万ルピー（約3億3,000万円）相当の緊急支援を行っています。

■「従業員の幸せ」：すべての従業員が、ライフステージに合わせた働き方を選択してキャリアを形成し、それぞれの個性や才能を發揮できるように、さまざまな人事制度を設けています。中でも、女性従業員のキャリア形成を推進しています。例えば、女性管理職候補者を対象とした育成プログラム、経営層および女性管理職候補者を対象としたアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を払拭する研修などを実施しています。今後も、ダイバーシティ推進チームが中心となり、国別・部署別の昇進者の男女比の分析・モニタリングを通して、女性管理職比率の改善に努めていきます。

(2) 連結財政状態に関する説明

(当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、資本の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ802億円増加し、2兆4,922億円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加836億円、売掛金及びその他の短期債権の増加89億円、その他の短期金融資産の増加128億円、棚卸資産の減少728億円、デリバティブ金融資産の増加268億円、有形固定資産の増加257億円、繰延税金資産の減少99億円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ832億円減少し、1兆3,326億円となりました。これは主として、買掛金及びその他の短期債務の減少317億円、その他の短期金融負債の減少939億円、リース負債の増加45億円、未払法人所得税の増加213億円、その他の流動負債の増加62億円、引当金の増加51億円、繰延税金負債の増加46億円等によるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ1,635億円増加し、1兆1,596億円となりました。これは主として、利益剰余金の増加1,027億円、その他の資本の構成要素の増加522億円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ836億円増加し、1兆1,771億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、前第3四半期連結累計期間に比べ1,940億円増加し、3,672億円(前年同期比112.1%増)となりました。これは主として、税引前四半期利益2,456億円(前年同期比1,032億円収入増)、為替差益195億円(前年同期比118億円収入減)、棚卸資産の減少額874億円(前年同期比561億円収入増)、その他の負債の増加額65億円(前年同期比427億円収入増)等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ43億円減少し、657億円(前年同期比6.2%減)となりました。これは主として、定期預金の純増額68億円(前年同期比78億円支出減)、有形固定資産の取得による支出419億円(前年同期比59億円支出増)、無形資産の取得による支出138億円(前年同期比26億円支出減)、使用権資産の取得による支出8億円(前年同期比5億円支出減)、持分法で会計処理されている投資の取得による支出42億円(前年同期比42億円支出増)、その他投資活動による収入16億円(前年同期比33億円支出減)等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ1,132億円増加し、2,627億円(前年同期比75.8%増)となりました。これは主として借入金の純減額4億円(前年同期比54億円支出増)、社債の償還による支出1,000億円(前年同期比1,000億円支出増)、非支配持分への配当金の支払額18億円(前年同期比4億円支出減)、リース負債の返済による支出1,116億円(前年同期比82億円支出増)等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間及び足元の業績を考慮し、以下のとおり修正いたします。

なお、2021年4月8日付「2021年8月期 第2四半期決算短信」で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(通期)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,210,000	255,000	255,000	165,000	1,616.05
今回修正予想(B)	2,150,000	245,000	262,700	165,000	1,616.05
増減額(B-A)	△60,000	△10,000	7,700	—	—
増減率(%)	△2.7	△3.9	3.0	—	—
前期実績	2,008,846	149,347	152,868	90,357	885.15

(注) 基本的1株当たり当期利益の業績予想は、前連結会計年度末の発行済株式数(自己株式を除く)に基づき算定しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年5月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		1,093,531	1,177,159
売掛金及びその他の短期債権		67,069	76,025
その他の短期金融資産		49,890	62,712
棚卸資産		417,529	344,651
デリバティブ金融資産		14,413	24,691
未収法人所得税		2,126	1,310
その他の流動資産		10,629	15,586
流動資産合計		1,655,191	1,702,138
非流動資産			
有形固定資産	6	136,123	161,918
使用権資産	6	399,944	395,415
のれん		8,092	8,092
無形資産	6	66,833	67,923
長期金融資産		67,770	68,492
持分法で会計処理されている投資		14,221	18,289
繰延税金資産		45,447	35,530
デリバティブ金融資産		10,983	27,538
その他の非流動資産	6	7,383	6,923
非流動資産合計		756,799	790,125
資産合計		2,411,990	2,492,263
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金及びその他の短期債務		210,747	178,994
その他の短期金融負債		213,301	119,346
デリバティブ金融負債		2,763	5,334
リース負債		114,652	120,451
未払法人所得税		22,602	43,978
引当金		752	1,079
その他の流動負債		82,636	88,902
流動負債合計		647,455	558,086
非流動負債			
長期金融負債		370,780	370,806
リース負債		351,526	350,316
引当金		32,658	37,493
繰延税金負債		7,760	12,410
デリバティブ金融負債		3,205	1,140
その他の非流動負債		2,524	2,408
非流動負債合計		768,455	774,575
負債合計		1,415,910	1,332,661

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年5月31日)
資本			
資本金		10,273	10,273
資本剰余金		23,365	25,301
利益剰余金		933,303	1,036,072
自己株式		△15,129	△14,994
その他の資本の構成要素		4,749	56,991
親会社の所有者に帰属する持分		956,562	1,113,646
非支配持分		39,516	45,955
資本合計		996,079	1,159,601
負債及び資本合計		2,411,990	2,492,263

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上収益	2	1,544,924	1,698,082
売上原価		△793,637	△839,246
売上総利益		751,286	858,836
販売費及び一般管理費	3	△608,029	△615,730
その他収益	4	7,098	7,855
その他費用	4, 6	△18,425	△23,646
持分法による投資利益		453	581
営業利益		132,383	227,897
金融収益	5	15,938	23,014
金融費用	5	△5,901	△5,256
税引前四半期利益		142,420	245,654
法人所得税費用		△50,944	△88,777
四半期利益		91,475	156,876
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		90,640	151,351
非支配持分		835	5,525
合計		91,475	156,876
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	7	887.96	1,482.08
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7	886.42	1,479.65

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期利益	91,475	156,876
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△244	410
純損益に振り替えられることのない項目合計	△244	410
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,084	36,225
キャッシュ・フロー・ヘッジ	27,165	24,136
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△10	98
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	28,239	60,460
その他の包括利益合計	27,994	60,871
四半期包括利益合計	119,470	217,748
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	119,501	209,635
非支配持分	△31	8,112
四半期包括利益合計	119,470	217,748

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2019年9月1日残高	10,273	20,603	928,748	△15,271	△697	△13,929
会計方針の変更による調整額	—	—	△34,252	—	—	—
修正再表示後の残高	10,273	20,603	894,495	△15,271	△697	△13,929
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	90,640	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△244	1,911
四半期包括利益合計	—	—	90,640	—	△244	1,911
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	—
自己株式の処分	—	1,261	—	121	—	—
剰余金の配当	—	—	△48,994	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	1,424	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	2,685	△48,994	116	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	2,685	41,645	116	△244	1,911
2020年5月31日残高	10,273	23,288	936,141	△15,155	△942	△12,018

(単位：百万円)

注記	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計			
2019年9月1日残高	8,906	△11	△5,732	938,621	44,913	983,534
会計方針の変更による調整額	—	—	—	△34,252	△1,361	△35,614
修正再表示後の残高	8,906	△11	△5,732	904,368	43,551	947,920
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	90,640	835	91,475
その他の包括利益	27,204	△10	28,860	28,860	△866	27,994
四半期包括利益合計	27,204	△10	28,860	119,501	△31	119,470
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	—	1,382	—	1,382
剰余金の配当	—	—	—	△48,994	△1,565	△50,560
株式報酬取引による増加	—	—	—	1,424	—	1,424
非金融資産への振替	△9,060	—	△9,060	△9,060	△974	△10,035
所有者との取引額合計	△9,060	—	△9,060	△55,253	△2,540	△57,793
連結累計期間中の変動額合計	18,143	△10	19,800	64,248	△2,572	61,676
2020年5月31日残高	27,050	△21	14,068	968,616	40,979	1,009,596

(単位：百万円)

注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2020年9月1日残高	10,273	23,365	933,303	△15,129	385	△8,489
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	151,351	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	410	32,940
四半期包括利益合計	—	—	151,351	—	410	32,940
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	—
自己株式の処分	—	1,567	—	140	—	—
剰余金の配当	—	—	△49,015	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	369	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	433	—	△433	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,936	△48,582	134	△433	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,936	102,769	134	△22	32,940
2021年5月31日残高	10,273	25,301	1,036,072	△14,994	363	24,450

(単位：百万円)

注記	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計			
2020年9月1日残高	12,905	△51	4,749	956,562	39,516	996,079
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	151,351	5,525	156,876
その他の包括利益	24,834	98	58,284	58,284	2,587	60,871
四半期包括利益合計	24,834	98	58,284	209,635	8,112	217,748
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	—	1,708	—	1,708
剰余金の配当	—	—	—	△49,015	△1,867	△50,882
株式報酬取引による増加	—	—	—	369	—	369
非金融資産への振替	△5,608	—	△5,608	△5,608	△68	△5,677
利益剰余金への振替	—	—	△433	—	—	—
その他	—	—	—	—	262	262
所有者との取引額合計	△5,608	—	△6,041	△52,552	△1,673	△54,226
連結累計期間中の変動額合計	19,225	98	52,242	157,083	6,438	163,521
2021年5月31日残高	32,130	46	56,991	1,113,646	45,955	1,159,601

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	142,420	245,654
減価償却費及びその他の償却費	131,157	132,576
減損損失	6 15,296	17,577
受取利息及び受取配当金	△8,286	△3,473
支払利息	5,901	5,249
為替差損益 (△は益)	△7,651	△19,532
持分法による投資損益 (△は益)	△453	△581
固定資産除却損	712	757
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,999	△7,826
棚卸資産の増減額 (△は増加)	31,327	87,475
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39,409	△39,652
その他の資産の増減額 (△は増加)	4,090	1,463
その他の負債の増減額 (△は減少)	△36,243	6,517
その他	5,629	2,346
小計	229,492	428,549
利息及び配当金の受取額	7,866	3,110
利息の支払額	△4,776	△4,336
法人税等の支払額	△60,287	△61,928
法人税等の還付額	827	1,818
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,122	367,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△67,776	△78,518
定期預金の払出による収入	53,079	71,683
有形固定資産の取得による支出	△35,974	△41,952
無形資産の取得による支出	△16,504	△13,815
使用権資産の取得による支出	△1,366	△807
敷金及び保証金の増加による支出	△4,723	△2,859
敷金及び保証金の回収による収入	4,882	3,129
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	—	△4,232
その他	△1,715	1,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,097	△65,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	10,319	43,425
短期借入金の返済による支出	△931	△43,843
長期借入金の返済による支出	△4,343	—
社債の償還による支出	—	△100,000
配当金の支払額	△48,965	△48,993
非支配持分への配当金の支払額	△2,328	△1,867
リース負債の返済による支出	△103,358	△111,638
その他	116	134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△149,492	△262,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,681	44,965
現金及び現金同等物の増減額	△40,785	83,627
現金及び現金同等物期首残高	1,086,519	1,093,531
現金及び現金同等物期末残高	1,045,734	1,177,159

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは衣料品販売を主たる事業として、「国内ユニクロ事業」「海外ユニクロ事業」「ジーユー事業」「グローバルブランド事業」を主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

国内ユニクロ事業 : 日本で展開するユニクロ事業 (衣料品)
 海外ユニクロ事業 : 海外で展開するユニクロ事業 (衣料品)
 ジーユー事業 : 日本・海外で展開するジーユー事業 (衣料品)
 グローバルブランド事業 : セオリー事業、プラステ事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス
 タム・タム事業、J Brand事業 (衣料品)

(2) セグメント収益及び業績に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	連結合計
	国内 ユニクロ 事業	海外 ユニクロ 事業	ジーユー 事業	グローバル ブランド 事業	合計			
売上収益	598,843	673,532	187,488	83,344	1,543,208	1,715	—	1,544,924
営業利益又は損失 (△)	79,160	51,815	20,486	△6,002	145,458	401	△13,476	132,383
セグメント利益又は損失 (△) (税引前四半期利益又は 損失(△))	80,732	53,121	20,340	△6,361	147,833	402	△5,814	142,420
その他の項目 減損損失(注3)	2,776	11,328	436	755	15,296	—	—	15,296

(注1) 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない収益及び全社費用であります。

(注3) 減損損失の詳細については、注記「6. 減損損失」にて記載しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	連結合計
	国内 ユニクロ 事業	海外 ユニクロ 事業	ジーユー 事業	グローバル ブランド 事業	合計			
売上収益	675,102	739,609	200,858	80,576	1,696,146	1,936	—	1,698,082
営業利益又は損失 (△)	119,518	97,781	24,353	△8,983	232,670	110	△4,883	227,897
セグメント利益又は損 失(△) (税引前四半期利益又 は損失(△))	121,920	96,412	24,300	△9,343	233,290	111	12,253	245,654
その他の項目 減損損失(注3)	3,155	11,103	1,095	2,222	17,577	—	—	17,577

(注1) 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない収益及び全社費用であります。

(注3) 減損損失の詳細については、注記「6. 減損損失」にて記載しております。

2. 収益

当社グループでは、店舗やEコマースのチャネルを通じた衣料品販売事業をグローバルに展開しております。主たる地域市場における売上収益の内訳は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年9月1日 至 2020年5月31日）

	売上収益 (百万円)	構成比 (%)
日本	598,843	38.8
グレーターチャイナ	362,657	23.5
その他アジア・オセアニア	160,128	10.4
北米・欧州	150,746	9.8
ユニクロ事業(注1)	1,272,375	82.4
ジーユー事業(注2)	187,488	12.1
グローバルブランド事業(注3)	83,344	5.4
その他(注4)	1,715	0.1
合計	1,544,924	100.0

(注1) 売上収益は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

なお、分類された地域に含まれる国と地域は、以下のとおりであります。

グレーターチャイナ : 中国大陸、香港、台湾

その他アジア・オセアニア : 韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、ベトナム、インド

北米・欧州 : 米国、カナダ、英国、フランス、ロシア、ドイツ、ベルギー、スペイン、スウェーデン、オランダ、デンマーク、イタリア

(注2) 主な国又は地域は、日本であります。

(注3) 主な国又は地域は、北米・欧州及び日本であります。

(注4) 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）

	売上収益 (百万円)	構成比 (%)
日本	675,102	39.8
グレーターチャイナ	431,502	25.4
その他アジア・オセアニア	165,255	9.7
北米・欧州	142,851	8.4
ユニクロ事業（注1）	1,414,711	83.3
ジーユー事業（注2）	200,858	11.8
グローバルブランド事業（注3）	80,576	4.7
その他（注4）	1,936	0.1
合計	1,698,082	100.0

（注1） 売上収益は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

なお、分類された地域に含まれる国と地域は、以下のとおりであります。

グレーターチャイナ : 中国大陸、香港、台湾

その他アジア・オセアニア : 韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、ベトナム、インド

北米・欧州 : 米国、カナダ、英国、フランス、ロシア、ドイツ、ベルギー、スペイン、スウェーデン、オランダ、デンマーク、イタリア

（注2） 主な国又は地域は、日本であります。

（注3） 主な国又は地域は、北米・欧州及び日本であります。

（注4） 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

3. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	53,069	51,603
地代家賃	43,009	49,857
減価償却費及びその他の償却費	131,157	132,576
委託費	36,785	37,458
人件費	207,768	210,503
物流費	75,318	71,543
その他	60,920	62,186
合計	608,029	615,730

4. その他収益及びその他費用

その他収益及びその他費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
その他収益		
為替差益(注)	1,841	4,201
その他	5,256	3,653
合計	7,098	7,855

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
その他費用		
固定資産除却損	712	757
減損損失	15,296	17,577
その他	2,416	5,310
合計	18,425	23,646

(注) 営業取引から発生した為替差益はその他収益に計上しております。

5. 金融収益及び金融費用

金融収益及び金融費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
金融収益		
為替差益(注)	7,651	19,532
受取利息	8,271	3,461
その他	14	20
合計	15,938	23,014

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
金融費用		
支払利息	5,901	5,249
その他	—	7
合計	5,901	5,256

(注) 営業取引以外から発生した為替差益は金融収益に計上しております。

6. 減損損失

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において、店舗資産等について、当初想定していた収益が見込めなくなったため、減損損失を認識しました。

減損損失を認識した資産の種類別内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
建物及び構築物	3,053	1,495
器具備品及び運搬具	507	374
有形固定資産 計	3,561	1,869
ソフトウェア	0	108
その他無形資産	—	7
無形資産 計	0	116
使用権資産	11,732	15,588
その他の非流動資産(長期前払費用)	2	2
減損損失 計	15,296	17,577

当社グループは減損損失を前第3四半期連結累計期間15,296百万円、当第3四半期連結累計期間17,577百万円計上しており、要約四半期連結損益計算書の「その他費用」に含まれています。

前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

有形固定資産及び使用権資産

減損損失15,296百万円は主に店舗資産(旗艦店含む)の収益性の低下等に伴い認識した減損損失であり、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したものであります。なお、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴い、当社グループは臨時休業等による業績悪化の影響を受けており、当該影響は2021年8月末まで継続する仮定のもと、減損損失を測定しております。

資産のグルーピングは、概ね独立したキャッシュ・インフローを生み出す最小の資金生成単位で行っており、原則として各店舗(旗艦店含む)を資金生成単位とし、回収可能価額は使用価値により算定しております。

使用価値は、マネジメントが承認した予測と成長率を基礎としたキャッシュ・フローを主に6.3%で割引いて算定しております。予測は原則として5年を限度としており、市場の長期平均成長率を超過する成長率は用いておりません。割引率(税引前)は、加重平均資本コストを基礎に算定しております。

なお、減損損失を計上した主な資金生成単位は以下のとおりです。

事業セグメント	資金生成単位	種類
国内ユニクロ事業	(株)ユニクロ 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等
海外ユニクロ事業	UNIQLO USA、FRL Korea Co., Ltd.等 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等
ジーユー事業	FRL Korea Co., Ltd.等 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等
グローバルブランド事業	Theory LLC等 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等

当第3四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）

有形固定資産及び使用権資産

減損損失17,577百万円は主に店舗資産（旗艦店含む）の収益性の低下等に伴い認識した減損損失であり、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したものであります。なお、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴い、当社グループは臨時休業等による業績悪化の影響を受けており、各地域の影響や個々の状況により収束の時期にばらつきがあるものの、国内を含む大半の国・地域においては影響の及ぶ期間を2022年2月末までと仮定し、一部の国・地域の店舗においては収束までより長期間を要するものと仮定して、会計上の見積りを行っています。

資産のグルーピングは、概ね独立したキャッシュ・インフローを生み出す最小の資金生成単位で行っており、原則として各店舗（旗艦店含む）を資金生成単位とし、回収可能価額は使用価値により算定しております。

使用価値は、マネジメントが承認した予測と成長率を基礎としたキャッシュ・フローを主に8.7%で割引いて算定しております。予測は原則として5年を限度としており、市場の長期平均成長率を超過する成長率は用いておりません。割引率（税引前）は、主として加重平均資本コストを基礎に算定しております。

なお、減損損失を計上した主な資金生成単位は以下のとおりです。

事業セグメント	資金生成単位	種類
国内ユニクロ事業	(株)ユニクロ 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等
海外ユニクロ事業	UNIQLO USA LLC、UNIQLO EUROPE LTD等 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等
ジーユー事業	(株)ジーユー等 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等
グローバルブランド事業	COMPTOIR DES COTONNIERS S. A. S. 等 販売用店舗	建物及び構築物、使用権資産等

7. 1株当たり情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	9,487.54	1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	10,903.41
基本的1株当たり四半期利益(円)	887.96	基本的1株当たり四半期利益(円)	1,482.08
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	886.42	希薄化後1株当たり四半期利益(円)	1,479.65

(注) 基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
基本的1株当たり四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	90,640	151,351
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期利益(百万円)	90,640	151,351
期中平均株式数(株)	102,076,743	102,121,062
希薄化後1株当たり四半期利益		
四半期利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	178,269	167,579
(うち新株予約権)	(178,269)	(167,579)

8. 後発事象

該当事項はありません。